

研修 評価

研修名	新潟県・新潟市委託事業 看護職員認知症対応力向上研修(3日間)				
領 域	診療報酬に関連した研修	会場	県看護研修センター 新潟テルサ	受講料	会 員：無料 非会員：無料
対 象	県内病院に勤務する「認知症看護に関する指導的役割の看護職員」 募集数(80人)応募数(94人)参加数(79人)会員数(70人)非会員数(9人)				
日 時	令和7年8月29日(金曜日)9月5日(金曜日)9月10日(水曜日)				
ねらい(目標)	認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関の看護職員に対し伝達をすることで、医療機関内での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を目的とする。				
講 師	医 師：田中 晋 三島病院認知症疾患医療センター 看護師：竹内 真奈美 厚生連上越総合病院 老人看護専門看護師 看護師：栗和田 直樹 厚生連長岡中央病院 認知症看護認定看護師 看護師：小林 真由美 県立坂町病院 認知症看護認定看護師 看護師：古川 望 新潟南病院 認知症看護認定看護師 看護師：鈴木 香織 信楽園病院 看護副部長				
内容・方法	○講義内容 ①認知症に関する知識 ②実践対応力 ③体制構築・人材育成 ○研修方法 ・講義と演習				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度(できた、ほぼできた)80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標(知識技術)の習得度(できた、ほぼできた)80%以上 ○参加者数 79名 99% 【達成・未達成】 ○アンケート結果(回収率49%) ・理解度 100% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 95% 【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・自施設の課題に上がっていることが他施設でも課題にあがっていて対象や現在行っている取り組みについても知ることができた。 ・もう少し検討する時間が欲しかった、やるべきことを理解するまでに時間を要したため、もう少しわかりやすく演習課題を提示してほしかった。(3日目、認知症ケアの体制整備の演習)				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：適切だった。 ・アンケート結果：ねらいと整合性があったとの回答が97%であり、プログラムは妥当であった。今後も継続が望まれる研修である。 ○総括 研修会開催の良かった点・改善点、今後の継続について ・1日目の机の配置(グループワーク形式)により、パワーポイントが見えづかったとの意見が複数あり。講義中心の1日目はスクール形式とした方がよいと思われる。 ・研修内容が多いため、事前資料配布による事前学習などの工夫や、時間配分、など、講師間で調整を継続する。				
課 題	○特になし				
担当者	教育委員				